

カラオケ歌詞テレビの題材例

子どもたちの注目は確実ですよ。

題材例	説明
 <p>「赤鼻のトナカイ」</p>	<p>クリスマスの定番の歌です。トナカイの絵がユニークで、絵が歌とともに動いていくと、低学年の子どもたちも注目しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
 <p>「ほら、ごらんよ！」</p>	<p>本校（勤務校）の体育祭の歌です。職員がオリジナルでつくった、とても親しみを持てるメロディーと歌詞です。歌に合わせて、体の動きもあります。その動きを絵にしています。下が歌詞です。</p> <p>♪♪『ほら、ごらんよ。青い空だよ。ほら、ごらんよ。おひさまがわらっている。走るきみの姿に、踊るきみの瞳に。ほら、ごらんよ。大きな拍手だよ。』♪♪</p>
 <p>「遠い世界に」</p>	<p>おもに筆者が中学部の担任をしているときに歌いました。「5つの赤い風船」が歌った歌です。若い先生方は知らないかもしれませんがね。</p> <p>子どもたちが中学生になったら、青春の歌も教えていきたいですね。メロディーも比較的穏やかなこの曲にしました。「旅に出る」という文句は、新幹線の絵を使っています。他に、「翼をください」も作りました。</p>

※ここに紹介した例は、すべて筆者のオリジナルの絵です。他にも、学習発表会で「うらしま太郎」をやったときには「うらしまたろう」の歌、「もも太郎」をしたときは、「桃太郎」の歌を、発表会でする劇の内容に合わせて絵に描いて、カラオケテレビを作りました。